

# 清友

No. 1

2009年5月



東京清掃労働組合退職者会

〒102-0072 千代田区飯田橋3-9-3 SKプラザ4F

TEL 03 (3237) 9995 FAX 03 (3237) 4541

## 小泉会長あいさつ



昨年4月19日、結成総会を開きました。本部の物心両面の支援に感謝します。

高齢者にとり、保険・医療・介護など厳しい状況にあります。政府は私たちの反対にも関

わらず、後期高齢者医療制度をつくり、高齢者切捨て攻撃を進めています。生きがいのある高齢者社会へ向けて取り組みを強めていきたくて考えており、そのためにも、構造改革路線に反対して闘っていきたくて思います。

衆議院選挙も身近に迫っています。憲法改悪阻止の闘いを強めていきます。

昨年の発足時、会員は40名でしたが、現在51名になりました。さらに会員の拡大を進めるため、既に退職している仲間の入会を働きかけていきましょう。

現役世代も頑張りたい。退職者会の会員拡大に本部も精一杯協力する。」との挨拶をいただきました。

上部団体から、自治体退職者会都本部山本会長、都庁退連合会村田会長・佐藤事務局長が参加。山本会長は、全国退職者会設立当時の闘い、東京清掃初代委員長の思い出、昨年の後期高齢医療制度反対の闘いなどにふれつつ、「現役世代が豊

## 第2回退職者会総会

# 現役世代と連携し 生きがいのある 高齢者社会創成を

東京清掃退職者会は、4月25日、SKプラザで第2回総会を開催しました。

総会には会員29名が参加。鈴木副会長の司会で開会し、総会議長に宮崎さん(新宿)を選出。小泉会長は、高齢者を取り巻く厳しい状況を打開する闘いと、会員拡大へ向けた決意を明らかにしました。

東京清掃本部から、西川委員長、額組織部長が来賓として参加。西川委員長から、「東

京清掃は区移管後、25の首長を交渉相手とする組織になった。国主導の賃金攻撃や区における現業切捨て攻撃により厳しい状況にあるが、高齢者に冷たい社会の変革のため、



額組織部長

西川委員長



都退協村田会長

佐藤事務局長

自治退都本部山本会長

※2面へ続く

かでない、退職者の生活も保障されない」と、現役世代との連携を強調しました。村

### 経過報告

## 昨年の結成総会から1年 メーデーと高齢者集会の取組み、 秋の親睦旅行・ハイキングを実施



昨年4月の結成総会から1年間の経過について、庄司事務局長が

報告しました。

▼会員は51名になりました。

▼役員は2年任期ですが、石川幹事が体調不調で辞任し、渡辺（大森出身）幹事を補充しました。なお、宮会計も体調不調なので、総会後の幹事会で補充することになります。

▼主な活動は、メーデーと高齢者集会です。今年も中央メーデーと日比谷メーデーに参加します。（今年のメーデーの様子は4面に掲載）

▼6月7日～9日に開かれた本部組織集会へ退職者会として初めて参加し、会員拡大の協力を訴えました。

▼9月の高齢者集会には、地

田さんからは、「都退協は、みなさんと一緒に頑張りたい。」とエールが送られました。

を巡り、好評でした。参加者は20名。  
▼自治退東京都本部・都庁退部会へ入会しました。清掃は、残念ながら都庁部会の中で下から2番目の会員数です。会員の拡大に努めます。  
会計決算報告として、

公退高齢者集会、全国高齢者集会にそれぞれ参加しました。  
▼秋の親睦旅行は、11月19日～21日、2泊3日で京都へ行きました。今後とも年一回取組みます。  
▼ハイキングは、3月30日に中野の哲学堂・新井薬師・北野神社な



▼昨年の結成総会費用は本部にもっていただきましたが、今回から議案書印刷費も退職者会の負担になります。  
▼会員への連絡をきちんとするため、必要な情報を郵送します。

### 活動計画

## 今年も親睦旅行を開催、ハイキングは西武池袋線沿線を企画 機関紙を発行（名称は「清友」）



2009年度の活動計画を、渡辺副会長が提案しました。

■退職者会上部団体に加入しましたので、今後、清掃本部

と退職者会上部団体の指導の下、取り組みを進めることとなります。  
■後期高齢者医療制度の廃止、医療・福祉の民間委託反対、介護難民をなくすことが、取り組みの柱です。本部の取り

組みにも対応します。特にメーデーの取り組みを進めます。

■旅行会は年一回開催します。  
■文化活動は、昨年の会員アンケートでは、ハイキング、カラオケの順の希望でした。工夫したいと考えています。

■ハイキングは、今回、西武新宿線沿線でした。次は西武池袋線沿線を企画します。

■会員拡大へ向けて、新会員の加入募集を強めます。

■今後は機関紙を充実させます。表題は「清友」としたいと考えています。

## 見舞金制度導入の是非を議論

総会では、次のことが議論になりました。

●東京清掃や上部団体の活動に対する主体的姿勢が必要（新宿・北条さん）

●見舞金制度を確立すべき（中野・岩渕さん）

取組みの姿勢については、指摘を踏まえることにします。

見舞金制度は、財政負担も考慮する必要もあり、多角度から検討することにしました。

# 不当労働行為を認定した 高裁判決を背景に1047 名解雇撤回・国鉄闘争の 早期解決へ全力を



国鉄の分割民営化に伴う国  
労等への採用差別から23年目  
を迎えました。

国鉄の赤字解消を理由に民  
営化されたにも関わらず、J  
R各社の累積赤字は今も増え  
続けています。国民の財産で  
ある国鉄保有地を安く買った  
大資本は大儲けし、国民には  
税負担が待ち構えています。

分割民営化の真の目的は、  
「国労を解体、総評・社会党  
ブロックを解体し、憲法改正  
の態勢をつくること」だった  
と、中曽根元首相は明言して  
います。国鉄の分割民営化以  
降、憲法改悪を視野に入れた  
悪法が次々と成立し、構造改  
革・新自由主義が席卷する中  
で、格差社会、ワーキングプ  
アに象徴される首

切り自由の社会が  
つくりられました。

国鉄闘争は、日  
本の進路を公平・  
公正な社会へ転換す  
る闘いです。

3月25日、東京高  
裁南裁判長は、鉄建  
公団訴訟控訴審の判決  
をくだしました。



判決の内容は、解雇を有効  
としたうえで、①地裁判決の  
慰謝料500万円に50万円上乗せ、  
②地裁で請求棄却した5名に  
加え停職処分者等5名を新た  
に請求棄却、③広域採用辞退  
者6名の慰謝料を半額にする  
など、地裁判決より後退する  
不当なものでした。

一方、採用差別は国鉄の不  
当労働行為であったことに判  
決の中で言及し、さらに、判  
決後、南裁判長は「この判決  
を機に1047名問題が早期  
に解決されることを望む」と  
いう異例のコメントを付け加  
えました。この高裁判決は、  
政治責任による早期解決をう  
ながしたものです。

当事者や共闘の仲  
間は、「雇用・年金・  
解決金」の獲得へ  
向け、裁判や地域  
の運動を背景に政  
治決着を目指して  
います。国鉄闘  
争の早期解決へ、  
私たち退職者会  
も、精一杯協力  
していきたい  
と思います。

## 役所がワーキングプ アを生み出している



マスコミで大きく取り上げられた  
「年越し派遣村」は、日本の基幹企  
業による派遣切りを告発し、ワーキ  
ングプアを社会問題としてクローズ  
アップするきっかけになりました。

その後、各地で「派遣村」に続く  
取組みが活発になっており、4月26  
日に、「なくそう！官製ワーキングプ  
ア・反貧困集会」が開かれました。

全国の自治体で採用抑制・非正規  
雇用への置き換えが進行し、労働基  
準法違反の実態が明らかにされまし  
た。役所がワーキングプアを生み出  
していることは許せません。参加者  
の総意で、非正規労働問題を正面か  
ら取り組む必要性を確認しました。

# 日比谷 メーデー

連合の中央メーデーは4月29日、全労協などの日比谷メーデーは5月1日に開催されました。東京清掃は、日比谷メーデーを中心に参加、中央メーデーは代表参加でした。

5月1日の日比谷メーデーは、晴天に恵まれ、暑いくらい。退職者会は13名参加。現役の仲間とともに元気に行進しました。

4月29日の中央メーデーも快晴。退職者会は6名が、東京地公労の事前集会和デモ、式典に参加しました。



# 中央 メーデー

